

ニューサービスについて

自動車の整備業界の方なら、関係のあるサイトを見なくてもニューサービスの基本はわかっている事と思います。

ニューサービスといってもそんなに難しく考える必要はありませんよね。

今までの整備工場は、整備完了後にその整備内容や料金内容等をユーザーが納得するように説明をしていなかったのが、ユーザーが自動車の車検や整備というものに不安を感じている。

このままでは、自動車の整備業界に対するユーザーの不満が大きくなる。
だから、これからはきっちりと整備内容等を説明してくださいね。
そもそもの基本がこれだけではないでしょうか。

今までは、自動車を使っていく為にはユーザーにとっていいことだろうと思って整備工場が勝手に判断をして整備をしてきたように思います。

しかし、いくら整備工場側がユーザーの為にいいと思ってやった事でも、ユーザーへの説明が不十分だったので不満がでてくるんです。

よく聞いたことですが、「ディーラーの車検は高い」・・・・。
でも、決してディーラーの車検は高くはないんですよ。

ディーラーだけではなく整備工場としては、これから先2年間安心して自動車を使っていく為にはこれだけの整備や部品の交換をした方がいいですよ。
ユーザーの為にそう考えてやってきた事ですよ？

少しは売上げを上げる気持ちもあつたでしょうが・・・・・・。

ただ、整備工場がいいと思ってやってきた事がユーザー理解していたのでしょうか？
理解してもらえるように説明をしていたのでしょうか？
説明をしてきたつもり？

ニューサービスを導入すれば、ユーザーへの説明をしなければならないので、金額や整備内容の不安は解消できるだろう。

これが、ニューサービスが始まった理由です。

受入れ点検や受入れ検査をおこなった検査員が点検の結果保安基準に適合しなくなるおそれのある箇所等に関してユーザーに説明をする。

ユーザーがその場での整備を希望しなければ整備をしなくても検査に合格する。

当然ですが、保安基準に不適合な箇所は除かれます。

これだけのことから、ニューサービスは指定整備工場であれば簡単にできますよ。

検査員が受け入れをやってユーザーへの連絡も検査員がやればいいのですからね。

ニューサービスとはそれだけの事ですよ。

指定整備規則では、ユーザーに連絡が取れない場合は保安基準に適合しなくなるおそれのある箇所は整備をしなければならない。

研修会？の資料のQ&Aにこう書いてあったように・・・。

この考え方は変わっていません。

ただ、ユーザーに連絡して了解が取れば、保安基準に適合しなくなるおそれのある箇所は整備しなくてもいいですよ。

ニューサービスを導入して、一人の検査員が受入れ時に完成検査と同等の検査もすれば完成検査の一部は省略する事ができますよ。

ニューサービスとはこういうことです。

この内容くらいの事なら、各地域の振興会に聞けば教えてくれます。

理解すれば簡単な事ですから一度聞いてみてくださいね。

ニューサービスを理解されたらわかる事なのですが、ニューサービスには時間は関係ありません。

ニューサービスだから短時間でしないといけない。

そのような事は指定整備規則等のどこにも書いてありません。

なので、その気になれば簡単にできますよ。

